

# 第11回空知高等学校柔道大会 兼第68回北海道高等学校柔道大会空知支部予選会

## 開催要項

主催 北海道高等学校体育連盟空知支部  
後援 空知柔道連盟・空知管内各柔道連盟  
主管 北海道高等学校体育連盟空知支部柔道専門部  
当番校 北海道滝川工業高等学校

1. 期 日 平成30年5月24日(木)～25日(金)

5月24日(木)		時間	場所
開 場	9:00		
計 量	9:15～9:45		(男子) 体育館・(女子) 女子更衣室
会 場 設 営	9:45～		北海道滝川工業高等学校 体育館
公 開 練 習	11:30～		北海道滝川工業高等学校 体育館
審 判 ・ 監 督 会 議	12:40～13:10		北海道滝川工業高等学校 記念館
開 会 式	13:20～		北海道滝川工業高等学校 体育館
団 体 試 合 開 始	13:30～(予定)		北海道滝川工業高等学校 体育館

  

5月25日(金)		時間	場所
開 場	9:00		
個 人 試 合 開 始	10:00～		北海道滝川工業高等学校 体育館
閉 会 式	個人試合終了後		北海道滝川工業高等学校 体育館

2. 会 場 北海道滝川工業高等学校 体育館  
〒073-0006 北海道滝川市二の坂町西1丁目1番5号 Tel (0125)22-1601

3. 競技規則 国際柔道連盟試合審判規定による。

(1)「優勢勝ち」の判定基準

- 1) 団体試合は、「一本」「合わせ技一本」「技あり」「僅差」以上とする。「僅差」は指導差2とする。  
チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行う。  
代表戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
- 2) 個人試合は、「一本」「合わせ技一本」「技あり」「僅差」以上とする。「**僅差は指導差2**」とする。  
技による評価が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

(2)競技方法

1) 「技の内容」と「指導」の重み

【一本勝ち=反則勝ち>技あり>僅差】の順とする。

2) 団体試合は以下の項目に従って勝敗を決定する。

①勝ち数の多いチームを勝ちとする。

②①で同等の場合は、「一本」による勝ち数が多いチームを勝ちとする。ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。

③②で同等の場合は、「技あり」による勝ち数が多いチームの勝ちとする。

④③で同等の場合は代表戦を行う。

3) 代表戦が終了した時点で技による得点差がなく、指導差もない(0-0)、あるいは指導差1(2-1または1-0)の場合は延長戦(ゴールデンスコア)を行います。

4) 延長戦では、技による得点**または「指導」の差により勝敗を決する。[「指導」の差は高体連特別ルール]**

5) 参加チームを数ブロックに分けリーグ戦を行い、各ブロック上位2チームにより決勝トーナメントをおこなう。

この際の組合せは1位同士が1回戦で当たらないようにシードする。なお、参加チームが少ない場合はリーグ戦のみとする。

6) リーグ戦において、勝敗が同等の場合、以下の項目に従って順位を決定する。

① 全試合における「勝ち数」が多い

② ①で同等の場合は、一本による勝ち数が多い

③ ②で同等の場合は、技あり勝ち数が多い

④ ③で同等の場合は、僅差勝ち数が多い

⑤ ④で同等の場合は、負け数が少ない

⑥ ⑤で同等の場合は、直接対決の勝敗

(3)個人試合(男女ともに各階級ごとトーナメント戦とする。参加人数が少ない場合はリーグ戦となる場合がある。)

(ア)男子個人戦:下記の7階級で行う。

60kg級(60kg以下の者)	66kg級(60kgを超えて66kg以下の者)
73kg級(66kgを超えて73kg以下の者)	81kg級(73kgを超えて81kg以下の者)
90kg級(81kgを超えて90kg以下の者)	100kg級(90kgを超えて100kg以下の者)
100kg超級(100kgを超える者)	

(イ)女子個人戦:下記の7階級で行う。ただし、参加人数により体重区分を変更することがある。

48kg級(48kg以下の者)	52kg級(48kgを超えて52kg以下の者)
57kg級(52kgを超えて57kg以下の者)	63kg級(57kgを超えて63kg以下の者)
70kg級(63kgを超えて70kg以下の者)	78kg級(70kgを超えて78kg以下の者)
78kg超級(78kgを超える者)	

(4) 計量は、平成30年5月24日(木)9:15～9:45の間に行う。

※計量にパスしない者は出場することはできない。

※計量の女子の服装については、Tシャツ・短パンまたはハーフパンツとする。

(5) 試合時間は、団体戦・個人戦とも4分とする。また、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。□

(6) 絞め技及び関節技においては、その効果が認められたときは、審判員の見込みにとって「一本」の判定を下すことができる。□

4. 参加資格 (1) 北海道高等学校体育連盟に加入している高等学校の生徒。  
(2) (財)全日本柔道連盟に登録を済ませた者。  
(3) 平成11年4月2日以降に生まれた者。(平成30年4月2日現在で19歳未満の者。但し、同一学年での出場は1回限りとする。)  
(4) 在籍が6カ月未満の転学者は参加できない。但し、一家転住等やむを得ない場合は支部長の許可があればこの限りではない。  
なお、外国人留学生もこれに準じる。  
(5) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長が支障がないと判断した者とする。  
(6) 脳しんとう対応として選手およびその指導者は下記の事項を遵守すること。□  
①大会1カ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。  
②大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
なお、至急 専門医(脳神経外科)の精査を受けること。  
③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。  
④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。  
(7) 保護者の出場同意のある者。  
(8) 引率責任者は当該校の教員、監督は当該校の学校長が認めた教職員とする。
5. チーム編成等 (1) 団体試合  
(男子) 監督1名、主務1名、選手5名、**補欠1名**をもって構成する。  
(女子) 監督1名、主務1名、選手3名、補欠1名をもって構成する。  
※全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。  
(2) 個人試合  
男子、女子ともに監督1名、主務1名、選手とする。選手出場者数を特に制限しない。
6. 組合せ **平成30年5月9日(水)13:30～ 北海道滝川工業高等学校**  
専門委員および当番校関係者により厳正な抽選を行う。
7. 参加申込 (1) 申込方法 **滝川工業高等学校HPよりダウンロードした参加申込書に必要事項を入力し、以下の要領で送付する。  
作成した申込データをメールに添付して大会事務局へ送信し、印刷して学校長印押印後郵送してください。**  
(2) 申込先 〒073-0006 北海道滝川市二の坂町西1丁目1番5号 Tel (0125)22-1601  
北海道滝川工業高等学校内  
高体連空知支部柔道大会事務局 宛  
**大会事務局メール送信先: takikawa-th-z0@hokkaido-c.ed.jp ※ファイル名を「学校名」に変更して送信してください**  
(3) 申込期限 **平成30年5月2日(水)まで**必着とする。  
期日までに申込書の提出がない場合は出場を認めない。
8. 参加料 (1) 選手1名につき500円(補欠を含む)を大会当日、受付時に納入すること。ただし団体・個人両試合に出場する者は1名分とする。□  
(2) 研究調査誌代を1校につき1500円(個人戦のみの参加も含む)を受付時に納入すること。  
(3) 全国高等学校体育連盟柔道負担金及び北海道高等学校体育連盟柔道負担金として、選手1名につき500円を受付時に納入す。
9. 表彰等 (1) 表彰について  
団体試合は上位3校、個人試合は男子においては各体重別上位3名、女子については上位3名を表彰する。  
(2) 全道大会出場資格  
(ア) 男子については、団体試合1位のチームのみ出場権が得られる。個人試合は各階級上位4名とする。  
(イ) 女子の全道大会については、個人・団体とも自由参加とする。
10. 諸連絡 (1) 参加者の変更  
(ア) 参加申込後、参加者に変更が生じた場合には所定の証明書(選手変更届)を添えて監督主将会議までに大会事務局に届けること。  
(イ) 団体戦の選手配列の変更は認めない。  
(ウ) 参加申込後の選手変更は1名を限度とする。ただし、伝染病・天災等による場合はこれを適用しない。  
(エ) 競技開始後に選手変更の必要が生じた場合には、選手変更用紙に必要事項を記入して本部記録係に提出し、変更承認を得て選手の交代をおこなうこと。  
(2) 参加者は全員ゼッケンをつけること。ゼッケンは白地に男子は黒、女子は赤で書き込むこと。  
(3) 各出場チームは赤白の帯を用意すること。  
(4) 柔道着の大きさについては各校で十分に点検すること。  
(5) 選手・主務の上履きは各自で持参すること。  
(6) 貴重品の管理は各校で責任を持っておこなうこと。  
(7) 宿泊及び弁当は各校で手配すること。  
(8) 髪の毛が襟に触れている場合は、試合の妨げにならないようしっかり結ぶこと。
11. その他 (1) 出場者及び大会関係者の入場は、滝川工業高校の記念館玄関をご利用下さい。